

平成22年平均 福井市消費者物価指数の動向

(平成17年基準)

総合指数 99.1
対前年比 (-)1.4%

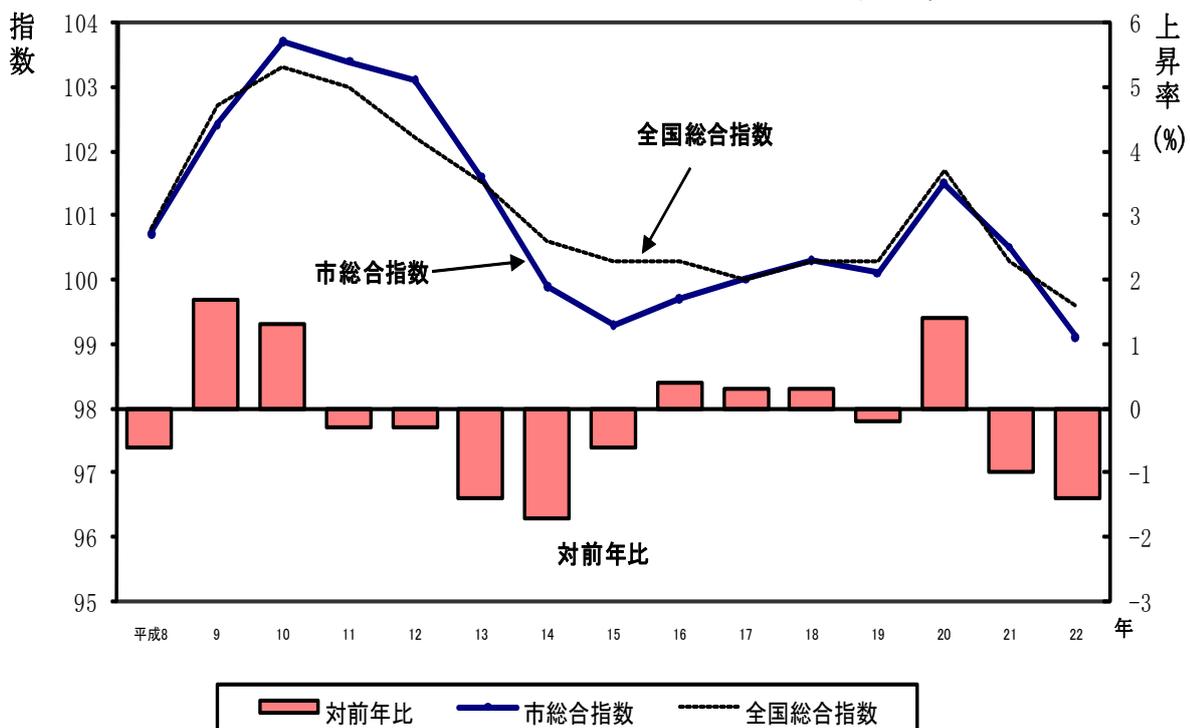
1 概況

平成22年平均福井市消費者物価指数の総合指数は、平成17年を100として99.1となり、前年に比べて1.4%下落した。

生鮮食品を除く総合指数は99.0となり、前年に比べて1.6%下落した。

福井市消費者物価指数(年平均・総合指数)の推移

平成17年=100

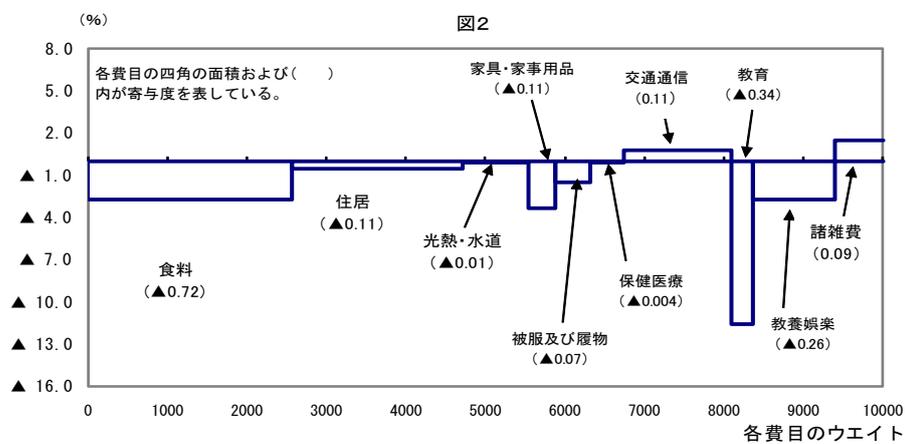


2 費目別指数の動き

- (1) 食料は102.8となり、前年に比べ2.7%の下落
[主な内訳]
生鮮魚介 (－) 11.4%
調理食品 (－) 9.4%
- (2) 住居は96.9となり、前年に比べ0.5%の下落
[主な内訳]
設備修繕維持 (－) 0.9%
持家帰属家賃を除く家賃 (－) 0.8%
- (3) 光熱・水道は103.4となり、前年に比べ0.1%の下落
[主な内訳]
電気代 (－) 2.6%
ガス代 (－) 1.9%
- (4) 家具・家事用品は92.7となり、前年に比べ3.3%の下落
[主な内訳]
家庭用耐久財 (－) 10.4%
家事用消耗品 (－) 4.2%
- (5) 被服及び履物は108.5となり、前年に比べ1.5%の下落
[主な内訳]
衣料 (－) 2.8%
- (6) 保健医療は99.6となり、前年に比べ0.1%の下落
[主な内訳]
保健医療用品・器具 (－) 4.1%
- (7) 交通通信は98.1となり、前年に比べ0.8%の上昇
[主な内訳]
自動車等関係費 (+) 2.1%
- (8) 教育は91.5となり、前年に比11.6%の下落
[主な内訳]
授業料等 (－) 15.7%
- (9) 教養娯楽は90.2となり、前年に比べ2.7%の下落
[主な内訳]
教養娯楽用耐久財 (－) 19.2%
教養娯楽用品 (－) 7.2%
- (10) 諸雑費は102.1となり、前年に比べ1.5%の上昇
[主な内訳]
たばこ (+) 9.6%
他の諸雑費 (+) 1.9%

3 前年比との比較

総合指数の前年比が1.4%の下落となった内訳を寄与度でみると、食料、教育、教養娯楽の下落が大きな要因となっている。(図3)



〔寄与度の高い費目〕

費目	主な内訳(寄与度)
食料	調理食品(▲0.36)、生鮮魚介(▲0.15)穀類(▲0.10)
教育	授業料等(▲0.34)
教養娯楽	教養娯楽用耐久財(▲0.10)
交通・通信	自動車等関連費(0.16)
諸雑費	たばこ(0.06)、他の諸雑費(0.04)